

公益財団法人天風会 令和7年度事業報告書（抜粋掲載）

令和7(2025)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がほぼ終息した前年に続き、社会環境が直接健康を害することのない平常年となりました。日本経済全体としては緩やかな回復基調となったものの物価高騰などの経済面や国際的な紛争の増加など将来に向けた不透明感は増した印象が強い一年でもありました。

本財団においては、公益財団法人として会員向けサービスの充実を含め、財団目的である天風教義の普及のために本来行うべき行事をさらに推進するべく注力いたしました。

具体的には、会員管理システムおよびポータルサイトの運営開始による会員利便性の向上、修練会を主軸とした従来行事の活性化、天風塾などの新行事の拡充、それに加えて、企業研修の実績とコンテンツの積み上げ、新刊2冊上梓など多様なニーズに応えることができました。またDX 関連で志るベアークイブ販売の開始や多くの講師の協力の下一時中断していた動画配信の再開も実現することができました。

一方で、財団としてコントロールが難しい印税収入の大幅な落ち込みや年度後半の会員減少など前年に続いて課題が残ったところもありました。

経費面は物価が上昇する中、賛助会活動補助金の下期調整を含めた抑制的な支出管理を行い、前年をわずかながら下回るレベルに止めることができました。しかしながら、次年度に向け、更なる支出削減は厳しい状況でもあり、収入面の改善がよりポイントとなる状況と認識をしております。

中長期的に安定した財政基盤を作る上では、財団事業の中で、自らが企画する事業での収益力を高めること、会員数を下支えしかつ増加に転ずるための既存会員の継続率改善、新規会員獲得施策の拡充、収益のブレの大きい事業への依存度を下げることが併行して進めていくことが必要です。令和8年度以降の事業計画ではその方向での企画と実績の積み上げを行う予定となっております。

I 公益目的事業

今年度は、一年を通して以下の内容の公益目的事業運営の推進を行った。

1 「心身統一法」普及事業

令和7年度事業計画の下、以下の行事を開催し、心身統一法の普及に取り組んだ

(1) 財団主催行事

①講習会

心身統一法を説く当財団の中核行事。昨年度より開催形式はリアル開催型（平日夜、火水木3日連続方式、年5クール）とオンライン型（事前録画方式）となった。オンライン型は事前収録のため月初から視聴が可能であり、一般・会員を問わず、見たい時に見られる環境を提供することができた（会員無料は継続、なお研修科は会員も有料）。

②研修科 年7回オンライン講習会と同様に事前収録型で有料提供した心身統一法のより深い部分を説く行事として、年間7回開催した。開催方法はオンライン講習会に準じた。

③特別講演会 年1回 (財団主催、東京の会・練馬の会協力)

講師による講演と複数名でのパネルディスカッションの二部構成で開催。

④心身統一法運動法セミナー 年12回 (オンライン形式)

「運動法」「養動法」「安定打坐法」「ひとりマッサージ」の指導・実習。

⑤夏期修練会 東京会場 8月、9月

天風哲学の真髄を会得し、心身の強化と生命力の充実を促進する。東京会場については、8月4日間、および9月3日間、集合型にてそれぞれ実施した。

⑥秋期瞑想行修会 東京会場 1回

修練会経験者を対象として、高度な天風哲学の更なる理解と実践を促進した。

これまでは2日間で開催していたが、令和7年度は1日のみで開催した。

⑦オンライン特別プログラム

令和7年度は期間内繰り返し視聴ができるかたちで「オンライン特別プログラム『研心抄』を読む。」の名称で、講師による『研心抄』解説動画を計11本提供した。

⑧一日(半日)セミナー 6回

特定のテーマに沿って集中的に学ぶ機会、リアルでの交流、心身統一法を日常生活に取り入れるなどの狙いの下に提供した(潜在能力開発、行修日常化、一日鍛錬、人間関係改善、女性向け)。前年の4回より2回増加。「新春一日鍛錬会」は護国寺月光殿での開催となった。

⑨TEMPU CREATIVE

キャリアアップ師との対話をよみとく〜朗読と解説「希望の言の葉」を開催した。

⑩天風哲学ビジネスセミナー

主にビジネスパーソンを対象に、ビジネスリーダー(村里講師、湯澤剛氏)による講話を中心に、中村天風の教えのビジネスへの活かし方を提供した。

⑪医学・科学スタディシリーズ

招聘を希望したゲスト講師の都合が合わず、未実施となった。

⑫天風塾(天風会館を利用した連続講座型のプログラム)

講師企画(教務委員会の監修とセット)を継続的に開催した。4名の講師が開講。

⑬新年会(天風会館)

財団主催、参加可能な賛助会との合同開催。

(2) 委託行事

賛助会に運営を委託し、修練会及び秋期瞑想行修会を開催した。

(鎌倉春期修練会、神戸夏期修練会、多武峰夏期修練会、秋期瞑想行修会・関西会場)

(3) 賛助会行事(後援行事含む)

心身統一法の全国的な普及を目的とし、財団が認定する各地賛助会において計画・開催する

行事について、講師の派遣及び行事運営の指導・監修・サポートを行った。

（４）外部講演会・研修

開かれた財団を目指して外部講演会を積極的に実施した。財団 Web サイトに「講師派遣（講演・研修）」ページを制作し広報活動を促進した。

①よみうりカルチャーセンター

7 会場（恵比寿、錦糸町、川越、川口、横浜、荻窪、柏）で実施。

②外部団体及び企業等からの要望により、随時受付。企業研修 5 件・10 回、団体向け講演 2 件を実施。

③その他

- ・日本経営合理化協会・全国経営者セミナー
- ・茨城県県西生涯学習センター
- ・西宮市公民館活用促進プロジェクト（神戸の会に委託）

（５）賛助会への助成・運営支援等

①活動補助金の配賦（上期は全賛助会に交付、下期は各賛助会の行事収入や剰余金の状況を考慮し支給を決定した）

②賛助会代表者会議の実施（オンライン）

2. 調査研究活動（中村天風「心身統一法」の教授法の研究）

①教務委員会会議（年 6 回）

②講師研修会 *本年度も開催見合わせ。

③講師ライブラリーの運用

④研修員制度（研修員の募集、審査、研修）

⑤講師養成勉強会の実施（オンライン 3 回）

⑥「心身統一法」行修リーダー（新規募集、審査、現行修リーダー対象の研修会）

⑦賛助会主催 2 日以上行修会の監修

⑧出版物及びデジタルコンテンツ等の監修

⑨教学的研究

3. 出版・広報事業

①財団出版及び監修出版物の販売

②新規出版物の制作、監修、協力

・『中村天風のご自愛指南書』（PARCO 出版/2025 年 9 月） /

・『まんがでわかる 中村天風の人生と哲学』（宝島社/2026 年 2 月）

・『中村天風講演録集 ～瞑想行修会編「心魂に刻む」』2026 年 4 月発売に向けて制作完了

③雑誌・書籍への執筆協力、資料提供

④機関誌「志るべ」の定期発行

- ⑤「志るべ」バックナンバーのデジタル販売（賛助会員限定）開始
- ⑥動画・音声配信サイトにおけるコンテンツ配信（定期購入、単品購入）の再開
- ⑦財団ホームページの運営及び賛助会ホームページの開設・改善
- ⑧メールマガジン及び各種 SNS 等による広報活動
- ⑨行事及び商品の雑誌・インターネット等広告掲載
- ⑩知的財産権（著作権、商標権等）の管理保全
- ⑪デジタルマーケティングに関する施策（ファンコミュニティサイトの構築検討）

Ⅱ．収益事業等

公益目的事業に資するため、以下の事業を継続して実施した。

- ①天風会館 5 階の賃貸契約：（一社）アイピーシー
- ②天風会館地下 1 階一室の賃貸契約： 東京の会
- ③天風会館 1 階及び 4 階の貸会議室運用：（株）ティー・ケー・ピーへ委託

Ⅲ 法人運営に関する事項

法人運営に必要な会議を以下の通り行った。

- ①定例理事会を 2 回開催、臨時理事会を 5 回開催した。
 - ・専務理事の退任及び選任（2025 年 12 月）
- ②定時評議員会を 2 回開催した。
- ③個別プロジェクト毎に適任を思われる理事による会議、各種課題の解決に向けた委員会会議を適宜開催した。
- ④外部業者とともに基幹業務システムの開発移行による現行サービス改善を行い、会員管理及び顧客の利便性向上を図るとともに事務局業務の効率化を図った。（2025 年 4 月より【ポータルサイト】を運用開始）

以上